

令和4年度

岐阜県協同農業普及事業外部評価
結果報告書

(ホームページ掲載用)

令和5年3月

岐阜県農政部農業経営課

はじめに

岐阜県では農業改良助長法に基づき、農業経営課及び各農林事務所に普及指導員を置き、農業経営の改善に関する科学的技術及び知識の普及指導を行う協同農業普及事業（以下、普及事業という）に取り組んでいます。

本年度の普及事業は、国の「協同農業普及事業の運営に関する指針」（平成27年5月11日付、農林水産省告示第1090号）、「ぎふ農業・農村基本計画（令和3年度～令和7年度）」及び県の「協同農業普及事業の実施に関する方針（令和3年度～令和7年度）」（以下、「実施方針」という。）に基づき実施しています。各農林事務所では実施方針に沿って、5年ごとの基本計画及び年度計画を作成し、計画的に普及事業を展開しています。

また普及事業の一環として、農業者研修教育施設である農業大学校は、新規就農者の育成・確保を目的に「岐阜県農業大学校担い手育成機能強化プラン（令和2年度～6年度）」及び年度ごとの教育計画を作成し、教育・研修に取り組んでいます。

普及事業は近年、研修から営農定着までの一貫した就農支援体制の構築や、国際競争力を強化するGAP（農業生産工程管理）の実践に成果を上げてきました。本年度は、みどりの食料システム戦略の策定を受け、環境負荷低減に向けた取り組みや、有機農業の推進、スマート農業技術の導入支援など、活動の幅を広げています。

今後も、農業者や地域農業のニーズに対応した普及指導活動を行い高い成果を得るため、外部からの客観的な視点で評価を受け、業務改善に努める必要があります。そのため、農業者や外部有識者等による評価を実施しており、令和4年度は中濃農林事務所、郡上農林事務所、および可茂農林事務所の取り組みについて外部評価を行いました。

ご協力いただいた外部評価委員の皆様には心よりお礼申し上げますとともに、いただいた貴重な御意見を普及事業の改善につなげ、さらなる高度化を進めるよう努めて参ります。

ここに、本年度実施した外部評価結果を報告いたします。

令和5年3月31日

岐阜県農政部農業経営課
課長 井戸 誠二

1 外部評価の目的

「協同農業普及事業の実施に関する方針」に基づき、普及指導活動において高い成果を創出するため、先進的な農業者や学識経験者、農業団体職員、消費者、報道関係者を含む委員による外部評価を実施し、その意見を次年度以降の活動に反映させることを通じて、業務の改善を行うことを目的とします。

2 外部評価の対象

- (1) 各農林事務所農業普及課の普及指導計画及び普及指導体制、並びに農業革新支援センターの普及活動に関すること。
- (2) 農業大学の教育課程、募集活動及び就農支援活動に関すること。

3 外部評価の経過

(1) 外部評価委員の選定

外部評価委員については、農林水産省生産局長通知の「協同農業普及事業の実施についての考え方（ガイドライン）」に基づき、先進的な農業者、若手・女性農業者、農業団体職員、消費者、学識経験者、報道関係者、民間企業から表1のとおり7名の方々に依頼しました。

表1 岐阜県協同農業普及事業外部評価委員一覧（順不同 敬称略）

	部門	氏名	所属	役職
1	先進的農業者	後藤 昌宏	岐阜県指導農業士連絡協議会 (岐阜県農業担い手リーダー)	会長
2	女性農業者	吉野 聡子	岐阜県女性農業経営アドバイザー いきいきネットワーク (岐阜県農業担い手リーダー)	会長
3	学識経験者	秋元 浩一	名古屋学院大学商学部	名誉教授
4	農業関係団体	北川 浩正	岐阜県農業協同組合中央会 営農支援センター	センター長
5	消費者	堀部 智子	生活協同組合コープぎふ	理事
6	報道関係者	国本 真志登	岐阜新聞 統合編集局	局長
7	民間企業	待井 昌彦	イオンリテール株式会社 東海カンパニーエリア政策推進チーム	岐阜担当

(2) 評価対象普及課題の農林事務所での自己評価実施

評価のバラツキを抑え公平な評価を行うために、外部評価会に先立って各農林事務所が「普及指導計画活動課題別評価票」に従って自己評価を行いました（別紙様式1）。

(3) 岐阜県協同農業普及事業外部評価会（課題評価）

各農林事務所は自己評価の結果を「普及指導計画活動課題別評価票」をもとに説明し、その後、外部評価委員が課題ごとに評価を行いました。

・期日

令和4年10月13日(木) 13:15～16:00

・場所

J Aめぐみの みのかも営農経済センター

・出席者

氏名	所属	役職
外部評価委員		
後藤 昌宏	岐阜県指導農業士連絡協議会 (岐阜県農業担い手リーダー)	会長
吉野 聡子	岐阜県女性農業経営アドバイザー いきいきネットワーク (岐阜県農業担い手リーダー)	会長
秋元 浩一	名古屋学院大学商学部	名誉教授
北川 浩正	岐阜県農業協同組合中央会 営農支援センター	センター長
堀部 智子	生活協同組合コープぎふ	理事
国本 真志登	岐阜新聞 統合編集局	局長
待井 昌彦	イオンリテール株式会社 東海カンパニーエリア政策推進チーム	岐阜担当
岐阜県農政部職員		
今村 拓幸	農業経営課 農業革新支援センター	技術指導監
林 啓介	同上	主幹
中澤 嘉人	中濃農林事務所 農業普及課	課長
加藤 昌亮	同上	技術課長補佐兼係長
神野 浩司	郡上農林事務所 農業普及課	課長
鵜飼 睦	同上	技術課長補佐兼係長
赤地 伸夫	可茂農林事務所 農業普及課	課長
水川 真弓	同上	係長
稲川 晴美	農業経営課 普及企画係	技術課長補佐兼係長
小田 桃子	同上	主任技師

・ 内容

秋元委員を座長として、外部評価対象として選定した1課題について各農林事務所からの説明の後、質疑応答が行われました。

・ 評価対象課題

中濃農林事務所

「中濃地域の担い手確保と人材育成」

郡上農林事務所

「米麦の生産振興による水田農業の活性化」

可茂農林事務所

「一億円をめざした堂上蜂屋柿の生産拡大」

(4) 評価結果の取りまとめ

外部評価会での説明及び質疑応答を元に、各委員が課題ごとに「令和4年度 外部評価課題別評価表（別紙様式2）」へ評価結果を記入し、農業経営課へ提出しました。

各委員から提出された「外部評価課題別評価票」を、農業経営課において「岐阜県協同農業普及事業外部評価結果報告書」として取りまとめました。

4 外部評価の結果

協同農業普及事業にかかる外部評価委員の評価及び意見と評価対象の所属の対応方針を併せて取りまとめました。

(1) 中濃農林事務所

課題名「中濃地域の担い手確保と人材育成」

1) 総合評価

ア 評価結果と意見

A (良好)	B (普通～概ね良好)	C (改善必要)
3人	4人	0人
<p>【農業者】</p> <ul style="list-style-type: none"> 普及活動の体制及び手法は良い取り組みをしてみえると思いますので、ぜひ継続されると良い。 <p>【学識経験者】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人づくり、組織づくりを核に地域農業を推進してきた結果、見るべき成果を上げている。 Covid-19による行動制限のある中で良く活動できたと評価したい <p>【農業関係団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> 昨今の生産資材価格高騰など、農業者を取り巻く環境はさらに厳しいものとなり、特に新規就農者にとっては、志があっても就農するにはハードルが高い時代となっている。そのような中、市・J A・関係機関と上手く連携・棲み分けし、地域農業を盛り上げていく取り組みがされていることから、高く評価ができ、今後も期待する。 <p>【消費者】</p> <ul style="list-style-type: none"> 将来的に重要な課題として就農者支援を課題として取り組まれたことが良い。 地域の様々な団体が連携して、新規就農者を開拓したりフォローアップしたりする体制が整っていることがとても良い。このことが安心につながり「この地で農業をしたい」と思っていただけで良いと思った。 中濃地域には円空さといも、上之保のゆず、ほらどキウイなど、プロモーションに工夫をされている産物がたくさんあり、私自身好きな商品も多くとても魅力的である。これからもこのように消費者が楽しく利用できるような仕掛けを期待する。 <p>【民間企業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 継続することで今後の効果が期待できる。 <p>【マスコミ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 指針に従い地域課題に対応している。一方で、新規就農者や農業従事者に寄り添っているかが見えにくい。手法や活動内容に加えて、育成対象者等の評価も外部評価会の場で報告してほしい。 		

イ 所属の対応方向

項目	対応方向
① 育成対象者等からの評価の有無と、今後の対応について	① 新規就農者から、関係機関の取り組みについて「ありがたい」「引き続き支援いただきたい」等の評価がある一方、「期待する協力がなかった」等の不満の声もありました。より寄り添った支援活動となるよう、対象者からの評価を継続していきます。

(2) 郡上農林事務所

課題名「米麦の生産振興による水田農業の活性化」

1) 総合評価

ア 評価結果と意見

A (良好)	B (普通～概ね良好)	C (改善必要)
4人	3人	0人
<p>【農業者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食味にこだわっている農家の多い地域で、良い取組みができています。 ・米麦の生産振興に力を入れていると感じた。食料自給率向上のためにも大変意義ある事に取り組まれている。 <p>【学識経験者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中山間地農業として高付加価値農業の振興を期した展開と評価できる。 ・今後の一連の取組みとともに、酪農等、畜産分野の取組み、スキーや四季の観光産業との連携等の視点も期待したい。 <p>【農業関係団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米の消費量の減少等にもともなう米価下落、低迷など、稲作農家を取り巻く状況は、非常に厳しい。そのような中、米の食味や単収の向上のみならず、消費者を意識したコンテストの実施など、農業者の所得増大に結びつく取組みは高く評価ができ、今後も期待する。 <p>【消費者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業時期が集中しないよう新しい品種の栽培に力を入れ、その普及に努力していることが良く伝わってきた。 ・学校給食のお米は100%地元産という点は食育の観点からも素晴らしい。 ・お米に関してコンテストのコンセプトが地域内の活性化だけなのか、外向けのもの(購入してもらう)なのかでプロモーションが違ってくる。おいしい郡上のお米が全国に届けられるようになると良い。 <p>【民間企業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な取組みをされているが、さらに地域で就農されている方々に周知する取組みが必要。 <p>【マスコミ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産性や品質の向上だけでなく、ブランド確立へ向けた施策など多くの「生み起こし」が見られる。地域や農業従事者に寄り添っている点が高く評価できる。 		

イ 所属の対応方向

項目	対応方向
①郡上米の全国展開についての展望	①郡上おいしい米コンテストを通して、郡上産米のブランド化、地域内の活性化に取り組んでいます。その後、全国規模のコンクールへの出展・入賞に発展することで、郡上産米の全国的な知名度向上につながることを期待されます。
②地域の農業者への取組みの周知について	②水稻の就農相談等の機会を利用し、コンテストへの参加を広く呼び掛けていきます。

(3) 可茂農林事務所
課題名「一億円を目指した堂上蜂屋柿の生産拡大」

1) 総合評価

ア 評価結果と意見

A (良好)	B (普通～概ね良好)	C (改善必要)
2人	5人	0人
<p>【農業者】</p> <ul style="list-style-type: none"> 堂上蜂屋柿生産には、並々ならぬ努力が必要なのだと感じるとともに、これだけ歴史がある美味しい物は今後も栄えてほしいと思った。 <p>【学識経験者】</p> <ul style="list-style-type: none"> 堂上蜂屋柿振興は地道に成果を上げている。今後、非農業者も含めた地域づくりへの視点もあってよいように思う。 <p>【農業関係団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> G Iに登録されたブランド柿について、一見華やかな品目であると思われがちであるが、現状は手作業が多い、圃場が狭い、高齢化が進むなどの厳しいものである。そのような中、スマート農業も取り入れ、会員を少しずつ増やしていることは高く評価できる。今後、G I登録商品である強みを活かし、市・JA等ともさらに連携し、販売を増やす新たな取組も期待する。 <p>【消費者】</p> <ul style="list-style-type: none"> 担い手不足に関する取組みについてあまり具体的な話がなかったように思うが、スマート農業の導入で、作業の軽減や技術の伝承をすすめる事は、今後退職後の方や若い方に対するアピールになると思う 伝統の技術が継承されている貴重な蜂屋柿なので、引き続き取組みを継続していただけると良い。 <p>【民間企業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生産者や関係機関と連携し地道に進めていると思う。 無人防除機のデモ実験を拝見したが、コストはどれくらいかかるのか？人件費がプラスになるほどの効果があるのかを検証し、普及を進めてほしい。 <p>【マスコミ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 外部評価会の中では、無人防除機の性能についての報告があった。実証によって分かった性能評価に加えて、導入による目的達成度の推測値等を報告していただきたい。 		

イ 所属の対応方向

項目	対応方向
① 担い手不足に関する対策として、定年帰農者や若者に対する取り組み。	① 市と振興会による堂上蜂屋柿作り体験の実施や、クラウドファンディングを活用して、若者への知名度向上を図っていきます。
② 無人防除機のコストと費用対効果について。	② 資材費は同等で、作業時間は10a当たり無人防除機：約38分、慣行：約60分となりました。費用対効果は今後検証予定です。
③ 無人防除機の導入による目的達成度の推測値等について。	③ 無人防除機による防除面積について目標を1ha/10.2ha (R7年度)としており、達成度は今後評価予定です。無人防除機の導入による栽培面積の増加を図っていきます。

5 外部評価結果の反映

農業経営課では外部評価結果を取りまとめ、評価対象の所属に送付し次年度の普及活動に反映させるとともに、「令和4年度 岐阜県協同農業普及事業外部評価結果報告書」を県ホームページ上に公開しました。

(別紙様式1)

普及指導活動における課題別評価表

評価対象年度 令和 年度

課題名： _____

所属名： _____

1 達成目標に対する実績

※各指導項目とその目標に対する実績(特に成果の上がった内容や達成できなかった事柄)と達成状況の数値的評価を記載する。

表1 主な指導項目(達成目標)に対する実績と達成状況

指導項目(目標)	達成目標に対する実績	達成状況(%)

2 自己評価

※3段階評価するとともに、その評価に至ったコメントを記載

(1) 課題(指導項目)の設定

A(良好)	B(普通～概ね良好)	C(改善必要)
-------	------------	---------

(コメント)

※成果・結果を踏まえて、現状のニーズの把握、指導事項について評価する。

(2) 普及活動の体制及び手法

A(良好)	B(普通～概ね良好)	C(改善必要)
-------	------------	---------

(コメント)

※指導体制及び活動時期、方法を整理分析、評価する。

(3) 普及活動の経過とその成果(結果)

A(良好)	B(普通～概ね良好)	C(改善必要)
-------	------------	---------

(コメント)

※単なる結果だけでなく、取り組みとして出来たこと出来なかったことを分析し、評価する。

(4) 普及活動の総合評価

A(良好)	B(普通～概ね良好)	C(改善必要)
-------	------------	---------

(コメント)

※全体を総括して評価する。

(別紙様式2)

令和4年度 外部評価 課題別評価表「委員氏名：_____」

対象：〇〇農林事務所
令和〇年度課題「_____」

自己評価の結果を受けて、3段階評価いただくとともに、ご意見や改善が必要な点を箇条書きでご記載ください。

(1) 課題(指導項目)の設定

A (良好)	B (普通～概ね良好)	C (改善必要)
※普及指導計画の課題の設定、対象の選定について評価する。 (コメント)		

(2) 普及活動の体制及び手法

A (良好)	B (普通～概ね良好)	C (改善必要)
※指導体制及び活動方法として、(1)関係機関・団体との連携 (2)活動の方法、時期、手段 (3)専門的な技術、情報の活用などについて評価する。 (コメント)		

(3) 普及活動の成果(結果)

A (良好)	B (普通～概ね良好)	C (改善必要)
※成果がでてきているかについて評価する。 (コメント)		

(4) 活動の波及総合評価

A (良好)	B (普通～概ね良好)	C (改善必要)
※他の農業者や地域への波及について評価する。 (コメント)		

(5) 普及活動の総合評価

A (良好)	B (普通～概ね良好)	C (改善必要)
※全体を総合して評価する。 (コメント)		